

令和5年度 学校自己評価表（報告）

学校運営計画			
学校運営方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が生き生きと学び、活動し、自分の成長が実感できる教育活動を行う。</li> <li>失敗を恐れず果敢に挑戦し、粘り強く取り組む生徒を育て、生徒の進路希望を実現する。</li> <li>感性豊かで、他者と協働しながら社会を切り開くリーダーとなり得る人材を育成する。</li> <li>教職員にとって働きがいを感じる職場であるよう、業務の精選、環境の改善に取り組む。</li> </ul>	
昨年度の成果と課題		令和5年度の重点目標	具体的目標
<p>〈成果〉</p> <p>○教務部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT環境の整備と授業への活用が広まった。</li> </ul> <p>○進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国公立大(延べ294名、実人数236名 66.1%)</li> <li>難関大学(14名、5.6%)</li> </ul> <p>学習への主体性を高める指導を工夫したことで5教科を最後まで諦めず取り組んだ成果である。</p> <p>○SSH総務部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「江風グローバル研修」の代替研修事業について、オンライン研修の開発を行った。</li> <li>学校設定科目の新たな教材開発を行った。</li> </ul> <p>○生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個々の生徒への対応(姿勢・技術)や組織的な対応力の向上が図られた。</li> </ul> <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>精選した教育計画の作成</li> <li>主体的に学習に取り組む姿勢の醸成</li> <li>高大接続改革への対応</li> <li>交通安全指導の徹底</li> <li>SSH事業で開発した教材の掲載や普及や他校でも活用可能な教材開発</li> </ul>	○進路意識の啓発と進路希望の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒や保護者に対して進路情報を効果的に提供する。</li> <li>授業第一主義を徹底し、生徒の学力向上に努める。</li> </ul>	
	○生徒の学力向上と学校の学習環境の整備充実をはかる	○基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者と連携を密にして生徒理解に努め、きめ細かな指導体制の確立を図る。</li> <li>正しい身だしなみや挨拶の習慣を身につける。</li> <li>自転車運転マナーを遵守させ、交通事故ゼロを目指す。</li> </ul>
	○生徒の学力向上	○進路希望の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習時間の確保(学年+2時間)。</li> <li>難関大学入試問題の分析等により、指導の充実を図る。</li> <li>学習が遅れがちな生徒に対しては丁寧に個別指導を行う。</li> </ul>
	○SSH事業の推進	○生徒に寄り添った支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>「探究力」を身に付けるための課題研究充実と評価手法の検討を行う。</li> <li>これまで培った研究成果等の情報公開と成果の普及を行う。</li> </ul>
	○いじめ事象への適切な対応	○ワークライフバランスの意識向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の悩みの軽減や解決を図り、充実した学校生活に導く。</li> <li>教職員研修により、いじめ対応に係る資質や能力の向上を図る。</li> <li>いじめの早期発見と、生徒の心のケアを組織的に行う。</li> <li>ワークライフバランスの観点から「時間外の勤務時間を1ヶ月45時間以内」、「時間外の勤務時間を1年間360時間以内」にすることを目標とする。</li> </ul>
重点目標	具体的目標	具体的方策	評価
進路意識の啓発と進路希望の実現	進路情報の提供	個人面談、学年PTAの実施、進路だより、学年だよりの発行を通して、生徒や保護者に対して進路情報を効果的に提供する。	A
	探究心や職業観の育成	大学・職場訪問、大学講義体験、修学旅行、進路講演会やLHRの中での活動を通して、探究心や職業観を育成し、自ら考え、自ら学ぶ姿勢を養う。	A
主体的な学びと課	探究活動をとった課題解決能	進路指導を探究的な学習と関連させ、LHRも活用しながら進路探究活動を進める。	A

題解決能力の育成	力の育成			
	粘り強く考える態度と、自ら学びに向かう姿勢の涵養	積極的に授業に参加させ、粘り強く考える態度と確かな知性を育成する。進路実現とその先にある将来について考えることを通し、自ら学びに向かう姿勢を涵養する。 他者と協力しながら、課題研究（探究活動）に粘り強く取り組ませる。また様々な活動や出会いの場を設けて、進路検討や協調性を育む機会とする。	A	A
基本的な生活習慣の確立	服装指導	スカート丈の指導に加え、リボンの正しい着用を徹底する。積極的に声かけを行い、挨拶を励行する。	B	A
	交通安全	年度当初に学年やクラスで交通安全指導を行い、交通事故防止への意識を高める。また、各学期に通学路にて交通安全指導を行う。	A	
	保護者との連携	学校と保護者との連携を密にして生徒理解に努め、きめ細かな指導体制の確立を図る。	A	
	心のケア	職員研修等を通じ、悩みを抱えている生徒への理解を深めるとともに、生徒が安心して相談できる環境づくりや関係性の構築を目指す。	A	
学力向上	学習習慣の確立	朝学習と家庭学習課題を充実させ、家庭学習時間（学年＋2時間）を確保することにより基礎学力を定着させる。	B	A
	授業第一主義を徹底	授業内容の充実と教科指導力向上に努め、ICTを活用した授業の充実を図る。	A	
SSH事業の推進	「探究力」を身に付けるための課題研究の充実	主体的な課題発見能力・課題解決能力を育成するため、課題研究を軸としたSSH事業及び学校設定科目の開発と研究を行う。ルーブリックの改訂と使用法の検討を行う。	B	A
	江風グローバル研修プロジェクトの推進	海外交流を通して諸外国との継続的な科学交流を進めることにより未来を担う科学技術系グローバル人材を育成する事業の開発・研究を行う。	A	
	情報公開と成果の普及	課題研究発表、Webページへの事業内容報告や開発した教材の掲載、研究会や学会での発表により、研究成果の普及を図る。	A	
いじめ防止対策	いじめの早期発見と、生徒の心のケア	スクールカウンセラー、サポートルームの周知と適切な利用促進。関係各所との緊密な連携を行う。	A	A
	いじめ事象への適切な対応	いじめ事象が発生した場合、管理職への報告、関係生徒からの聞き取り、及び指導、保護者への説明等を学校全体で組織的に対応する。	A	
管理運営	ワークライフバランスの意識向上	・ICTを活用し、業務の軽減・効率化を図り、一層の働き方改革を実践する。また、業務及び行事の精選について提案・協議を積極的に行う。 ・産業医の職場巡視を年に6回以上実施し、産業医の意見を参考に、安全衛生委員会において、職場環境改善の提案・協議を行う。	B	
成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、探究的な活動や対話的な活動が充実し、各教科において主体的に考えたり、協働的に活動したりする機会が増加した。</li> <li>ICTを利用し、生徒がタブレット端末を活用した授業が増加した。</li> <li>全教員で生徒の指導にあたったことにより、国公立の合格者数が過去最高であった昨年を超える実績をあげた。</li> <li>SSHでは、江風グローバル研修を実施し、台湾の台中文華高級中学が来校し、対面での交流を行った。</li> </ul>	総合評価	A